



入院を勧められたけど、どんなことをしているの??と不安に思う方もいらっしゃると思います。  
入院治療はAddiction Rehabilitation Program(アディクション リハビリテーション プログラム) 略してARPを行います

学習するプログラム  
学習会  
認知行動療法など

ミーティング  
合同ミーティング  
なでしこミーティングなど

身体を動かす  
農耕  
歩こう会など

同じ依存症という病気を患っている方と共に、病気をテーマにした話しをしたり、依存症という病気の知識を得るための学習会を行います。

入院して、お酒やギャンブルから離れた環境で集中的に治療を行い、心と体の回復を目的としたプログラムを行います。

今まで一人で抱えていた不安やストレスをどうやって解消していくのか…

お酒やギャンブルに頼らない生活するにはどうしたらいいのか…

お酒やギャンブルをやめて、暇な時間はどうやって過ごそうか…

小さなことからゆっくりと解決の糸口を見つけていくスタート地点です。

入院期間はひとりひとりの患者様に病棟の看護師の担当がついて、プログラム以外でも入院中の不安や退院後の不安が軽減できるようにサポートします。

担当看護師は入院中に計4回の個別面談の中で、身体的・精神的に不安なことを一緒に解決できるようにゆっくりと話す時間を作っています

また、外泊後には一緒に振り返りをしたり、随時、サポートしております

